

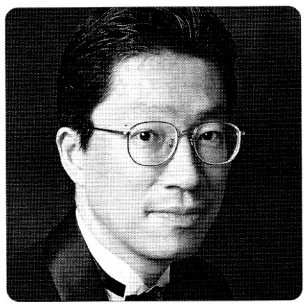


取材・文：堀江昭朗

# 福田成康

(社)全日本ピアノ指導者協会専務理事・事務局長

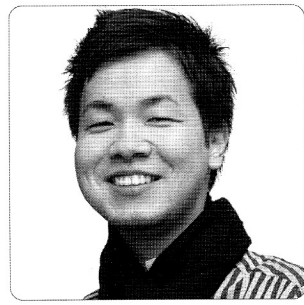
今為すべきことを、今必死になつて実行する  
それは、これからも変わりません



金子一朗



須藤梨菜



関本昌平

昨年、ピティナ(社団法人全日本ピアノ指導者協会)が、創立40周年を迎えた。福田靖子氏を中心に、ピアノ指導者の資質向上のために数人のピアノ教師によってスタート。ピアノを通じた文化の振興にも活動の幅を広げ、現在は会員11200人を超え、支部・連絡所・ステーションが300か所を超える大きな団体となった。長くピティナで仕事を続け、故人となった彼女の後を引き継いで、協会の取りまとめをしているのが子息の福田成康(せいこう)氏だ。

つ実行し続けてきたことの積み重ねなんですね。「ピティナにはお金がないので、タダを覚悟で働いてちょうだいね」というのが口癖だった母に付いてきてくださった方たちの、多大なる努力の成果でもありません。今でもボランティアの力に支えられているのです。人々がよいと思うことを次々と実行して、多くの人に受け入れられた活動が残っていました。大きな理想や目標を掲げたのではなく、その時その時で最善と思うことを実現させてきた。その陰には普通の10倍ものトライアルがありました。いいと思うメソッドや教育法を伝えていくためには、とにかく続けていかなければならない。続けていく中で、メ

したいと思ひ、N響さんをお願いしたら快諾を得られた。会員の先生方に相談してみたら、この年度のN響と共演するだけの演奏力を持った4人のファイナリストが揃うか未知数ということであらかじめファイナリストが確定できる40周年記念演奏会に切り替えたいです。その後、最終審査も東京ニューシティ管弦楽団に共演してもらうことになったんですよ。

**Concert**

ピティナ40周年記念「ピアノコンチェルトの夕べ」

**3月28日(水) 19:00開演**  
**サントリーホール大ホール**

出演：金子一朗、須藤梨菜、関本昌平  
共演：渡邊一正(指揮) NHK交響楽団

曲目：  
ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調(金子)  
リスト：ピアノ協奏曲第1番 変木長調 S.124(須藤)  
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番 二短調 Op.30(関本)

料金＝S¥6000 A¥5000 B¥4000 P¥3000  
問合せ＝(社)全日本ピアノ指導者協会  
☎03-3944-1583

ソッドや教育法の中身を濃くしようと努力してきたのです」福田さんの口調は熱い。40周年を記念したさまざまな企画がたちあげられたが、その掉尾を飾るのは、同協会の「成果」を示す3人の奏者による「ピアノコンチェルトの夕べ」。渡邊一正の指揮するNHK交響楽団との共演という力の入った舞台だ。「ピティナ・コンペティションの最終審査には協奏曲があるんです。が、今まではピアノ伴奏でした。オーケストラ演奏で審査

ブリのダブル受賞をした関本昌平さん。同じく福田靖子賞を受賞し、海外のコンクールでも成果を上げている須藤梨菜さん。そして特級グランプリを受賞しながらアマチュアの立場で活動している金子一朗さん。この40年に感謝の気持ちを込めてのコンサートです」同じ日、紀尾井ホールでは第30回ピティナ・ピアノコンペティションの「入賞者記念コンサート」が、さらにサントリーの小ホールでは「バスターン・フォーラム全国集い」も開催。今後のピティナの発展を思わせる。「今、いちばんピティナらしいと思うのは、各地で行なっているステップというミニ・コンサート。子どもも大人も、レベルに関係なく参加でき、セミナーなども行なうものです。このステップを足掛かりに、ピアノ音楽をもっと広め、演奏家を応援する仕組みなども作れたらと思っています」